

ふらべじ

Flower&Vegetable

Vol.5 1997.
10.31

夕焼けの号

発行 北海道立花・野菜技術センター 滝川市東滝川735 TEL (0125) 28-2800 FAX (0125) 28-2299



秋の味覚を楽しむ

カボチャ

Cucurbita spp.

北海道の秋を代表する味覚、カボチャ。カンボジアから持ち込まれたことからこの名前が付けられたと言われています。

今、日本で栽培されているカボチャは3種類。ホコホコとして甘みの強いセイヨウカボチャ、しっとりとして醤油と良く合うニホンカボチャ、淡泊な味わいで飾り用としても人気のペポカボチャ。品種によって、色、形、大きさとも様々です。

食べ方も、昔ながらの煮物、天ぷらを始め、最近ではサラダやプリン、パイ、ポタージュなどにも引っ張りダコ。どんな料理にどのタイプのカボチャを使うかで、楽しさも倍増です。

花・野菜技術センター公開デー ～それぞれの1コマ～

9月5日、約800人が東滝川に集まりました。
たくさんのおし物の中から一部をご紹介します。



花の品種の人気投票を行いました。
きれいな花に囲まれて幸せ！



トマトジュースの試飲。市販のものよりもおいしかった？！



押し花サロンではしおりを作りました。世
界にひとつの貴重なしおりの出来上がり！



土壌診断、病害虫相談コーナーもありました。



秋晴れの中、農作業機械を展示、実演しました。

フラワーアレンジメント大盛況！

華道池坊光明流清美会代表である滝川市在住の奥祥華先生を講師に招いて、フラワーアレンジメント教室を開講しました。午前の部では、一般来場者10名の方に、小かごによるアレンジを実演・指導し、その様子を観覧するという形で行われました。

午後の部では、グラジオラス、カラー、トルコギキョウなどセンターで栽培、研究している花を利用して、先生による作品制作のデモンストレーションが行われました。扇形や三日月形などの形をした見事な4作品に来場者の方々も目を留め、午前、午後合わせて250名の方が観覧されました。



研修係からのお知らせ

平成10年度技術研修について次のとおり研修生を募集します。

研修名	コース	研修期間	募集人数
専門技術研修	・花きに関する技術 ・野菜に関する技術 ・土壌肥料に関する技術 ・病害虫に関する技術	2カ月間以上から1年間の範囲で研修課題に応じて必要な期間を定めます。	4コース合わせて年間20名程度
総合技術研修	・花き栽培1期 ・野菜栽培1期 ・花き栽培2期 ・野菜栽培2期	平成10年4月20日～6月26日 平成10年4月20日～6月26日 平成10年7月6日～9月11日 平成10年7月6日～9月11日	10名 10名 10名 10名

○専門技術研修

花き、野菜、土壌肥料、病害虫に関する技術の中から、研修課題と研修期間を各自設定します。その研修課題に応じた研究科に配置され、高度な専門技術の修得を目標とします。

○総合技術研修

花き栽培及び野菜栽培の各コースごとに、センター及び道内各試験場からの専門講師による講義と、栽培管理、調査、分析などの実習によって、基礎から実践まで一貫した総合技術の修得を目標とします。

※詳細については各支庁、農業改良普及センターにある研修案内をご覧ください。

問い合わせ先 花・野菜技術センター総務課研修主査まで TEL 0125-28-2800 (内線 209)

第2回

ガンバレ！ 新農業人いんたびゅ～
ガンバレ！ 新農業人いんたびゅ～

今回の若き農業者は士別市の喜多淳次さん。農業普及センター職員から、一転、家業の農業を継いだという経歴の持ち主です。このあたりの心境の変化についていろいろインタビューしてみました。

◎まずは自己紹介をお願いいたします。

・昭和44年6月7日生まれで家族は妻と1歳の息子がいます。実家の両親と水田7.3ha、大豆1.0haを経営していますが、家は別宅を構えて、通いで仕事をしています。趣味はバイクで友人とツーリングに出かけるのが好きです。

◎普及センターの職員だったそうですが・・・
・もともと農業は好きだったので、いずれは跡を継ぎたいと思っていました。まあ、給料取りというよその世界も経験してみたいという気持ちもあったので(笑)。普及センターでは2年間勤務しましたが、私にとっては貴重な経験になっています。



◎今後の農業経営に対して何か抱負はありますか。

・これから、メロン、イチゴなどの野菜類の栽培に取り組んでみたいと考えています。同じ目標を持つ仲間をどんどん増やして、できれば家族経営という形じゃない、農業法人的な経営もやってみたいと思っています。

◎明るくて、とても楽しそうな喜多さんでした。どうもありがとうございました。

新スタッフ紹介

中村文士郎 場長



6月に赴任して早や5ヶ月、新米場長としてはとまどふことばかり。6月初旬の全国場長会議で会った人に名刺を出すと、しげしげと見つめて「立花って何ですか」との質問。北海道立花・野菜技術センターの名刺は誤読されやすい。以後作る名刺には「立」の字を入れないことにした。みなさん、私どもの名称を正しく呼んで下さるようお願いいたします。

長野芳治 総務課長



平成9年6月の人事異動で空知支庁農務課から花・野菜技術センターにまいりました。

試験場の勤務は初めてですが、皆様のご協力を得ながら頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

編集後記

◆ぶらりと入った書店で「少年H」という本に目がとまった。本なんて久しく読んでいなかったのに・・・これはオレのことを書いてる・・・と思い、そのままレジへ。小さい頃はイニシャルのH、Hでスケベの代表の如くからかわれたものだが、今はこの本と自分をだぶらせながら楽しく読んでいる。(H、H)

◆実りの秋。私は睡眠の秋を満喫したいところですが、連日深夜までテレビの中で馬を調教しています。はまってしまうとなかなか抜け出せないもので、ダービー制覇を果たすまではこの日々が続くのだろうと思います。我が繁殖牝馬にメジロライアンを種付けし、牝馬を生ませて次にリアルシャダイとプライアンスタイムを。天高く馬肥ゆる、仕事も肥ゆる、体も肥ゆる秋の夜長。(T)

◆あつと言う間に夏が終わり、収穫の秋もう終盤。私は最近、カボチャの食べ過ぎで顔が黄色くなってきたような気がします。カボチャはこれからの季節の大切なビタミン源。私もカボチャの効用で、少しは体が丈夫になると良いのですが・・・。(Go)

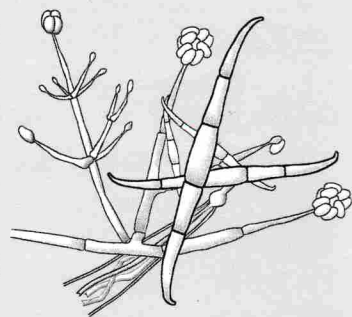
◆秋になると紅葉が始まり、空気が澄んでまわりの山々が一段とくっきり見え、夕焼けがきれい、色鮮やかです。先日、すごくきれいな夕焼けで、空一面、燃えるような赤に染まりました。今回のふらべV.1、5は「夕焼けの号」。花の採花はピークを過ぎて、少しおちついたところですが、しばらくすると長い冬がやってきます。滝川での2年目の冬、南国育ちの私(?)には大変です。(Ms. Clear)

◆ふらべじ? 何だこれと思っていたのが編集委員の一人になってしまい、委員長足を引っ張らないよう、なんとか分担をこなしてホッとしている。それよりも、恐ろしいと言われている滝川の冬が気がかり。(03)

オオカミ壮年と野菜

専技室にオオカミ少(壮)年が在籍しているのをご存じでしょうか。彼は専技になって9年目。彼はこれまでの花と野菜、特に野菜とのつきあいの中で・・・土壤病が襲ってくるゾ、今のうちに手をうたなければ北海道の野菜産地が危なくなる・・・と、機会ある度に言いふらして来た。ところが、3年経ち、5年経っても彼が言う土壤病襲来の姿は、関係者の目には写らなかった(彼には恐ろしい姿が見えていたらしいのだが)。某日、某スナックで大好きなバーボンのロックを飲みながら・・・俺はオオカミ少年だ・・・と呟いた彼に、隣席から・・・少年ではなく壮年だろう・・・と声がかかり、以来オオカミ壮年の呼称が定着?していた。

しかし、このところの状況は、彼をオオカミ壮年から卒業させそうである。彼の卒業は土壤病の襲来が現実のものになったことを意味し、歓迎すべきではない。彼は今、敵に抗うための武器・弾薬をどのように調達するかを考えているらしい。



(専門技術員室 尾崎 政春)